第282回柏崎地域早期景気観測調査　報告書

ー　令和5年5月期　ー

【インデックス】

1　全産業(P.2)
2　建設業(P.3)
3　製造業(P.4)
4　卸売業(P.5)
5　小売業(P.6)
6　サービス業(P.7)

〔調査方法〕

会員企業1社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」（※従業員ＤＩについては今期水準）および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をＤＩ値で表します。

ＤＩ値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

〔DI値とは〕

ＤＩ値（景況判断指数）とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」－「悪化」
【売上】…「増加」－「減少」
【採算】…「好転」－「悪化」
【資金繰り】…「好転」－「悪化」
【仕入単価】…「下落」－「上昇」
【従業員】…「不足」－「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」－「困難」

〔調査対象業種〕

建設業	総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業	鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業	建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業	飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

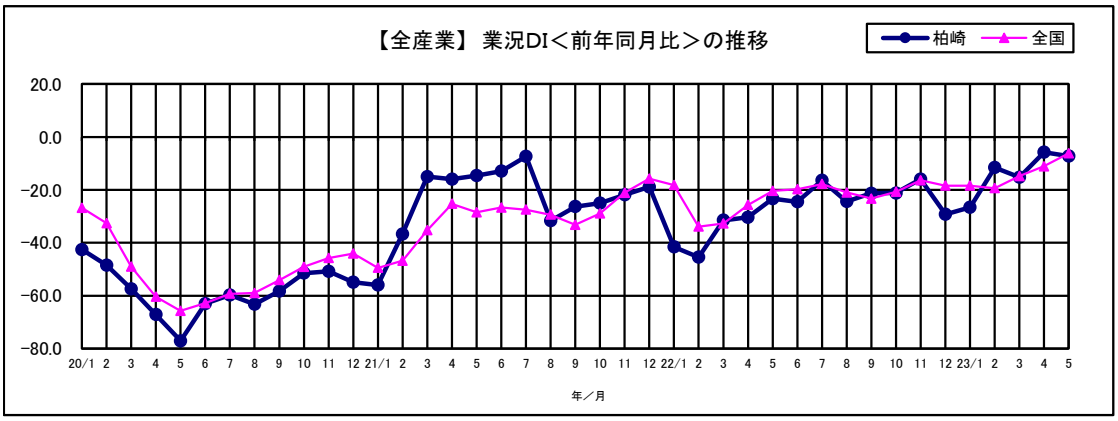
〔調査対象数・回答状況〕

業　種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	38	45	27	26	36	172
回答数	24	28	12	13	22	99
回答率(%)	63.2%	62.2%	44.4%	50.0%	61.1%	57.6%

柏崎商工会議所

◆概況（全産業合計）

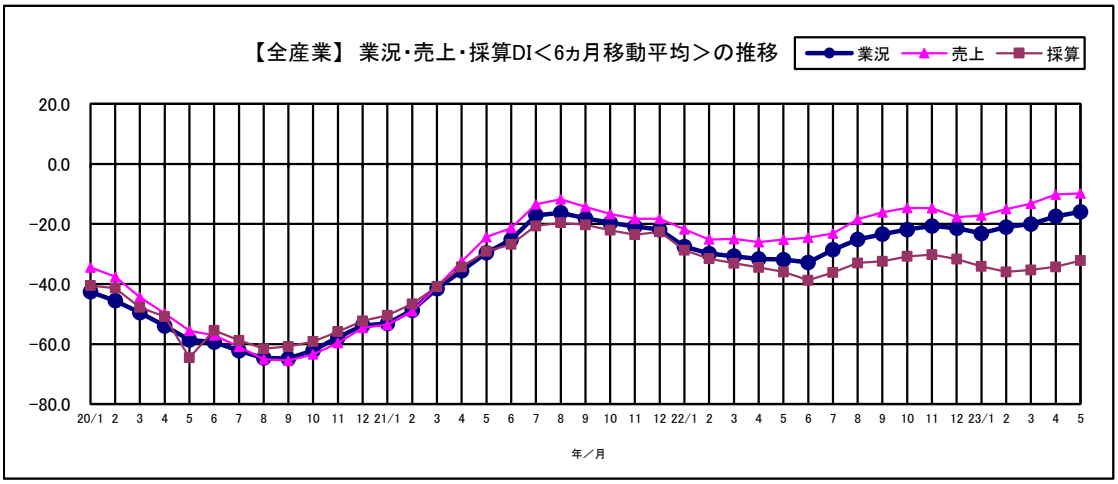
項　目		22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	先行き見通し 6月～8月
業　況	柏　崎	▲ 29.3	▲ 26.6	▲ 11.6	▲ 15.2	▲ 5.8	▲ 7.2	▲ 6.6
	全　国	▲ 18.4	▲ 18.4	▲ 19.4	▲ 14.8	▲ 11.1	▲ 6.2	▲ 9.5
売　上	柏　崎	▲ 30.6	▲ 13.5	▲ 8.1	▲ 0.5	3.8	▲ 10.1	▲ 1.8
	全　国	▲ 0.6	▲ 2.6	▲ 3.0	1.9	6.3	5.7	▲ 1.4
採　算	柏　崎	▲ 44.6	▲ 45.0	▲ 42.5	▲ 26.6	▲ 14.6	▲ 19.9	▲ 23.5
	全　国	▲ 24.1	▲ 23.7	▲ 26.7	▲ 20.1	▲ 16.0	▲ 12.3	▲ 15.7
資金繰り	柏　崎	▲ 17.7	▲ 16.0	▲ 12.1	▲ 9.7	▲ 6.4	▲ 7.1	▲ 8.3
	全　国	▲ 16.5	▲ 15.9	▲ 16.9	▲ 15.1	▲ 12.9	▲ 10.6	▲ 11.5
仕入単価	柏　崎	▲ 72.5	▲ 73.6	▲ 77.6	▲ 70.4	▲ 66.5	▲ 67.5	▲ 58.6
	全　国	▲ 74.4	▲ 74.5	▲ 76.3	▲ 75.1	▲ 74.4	▲ 70.4	▲ 61.6
従業員	柏　崎	16.7	20.4	14.5	▲ 15.4	20.9	▲ 21.7	23.1
	全　国							22.9
資金借入難易感	柏　崎	▲ 7.8	1.7	▲ 2.1	▲ 1.7	2.1	0.3	▲ 2.2



＜移動平均分析（全産業）＞

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがありますが、移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



【5月期全国全産業の動向】

●全産業合計の業況DIは、▲6.2

行動制限のない大型連休に加え、コロナの5類移行による消費マインドの改善、インバウンド・国内観光需要の回復で、飲食・宿泊関連のサービス業、百貨店・土産品販売等の小売業で改善した。また、製造業では、底堅い国内の設備投資需要の下支えで改善し、卸売業でも製造・小売・サービス業からの引き合い増加で改善した。建設業でも、政府の補正予算による公共工事の受注増で改善した。原材料・エネルギー価格の高騰や人材確保に向けた賃上げ等のコスト負担増、需要回復に伴う人手不足、価格転嫁が十分に追い付いていない等、経営の重荷は多いが、経済活動のさらなる回復で、中小企業の業況は改善が続いている。

●先行き見通しDIは、▲9.5

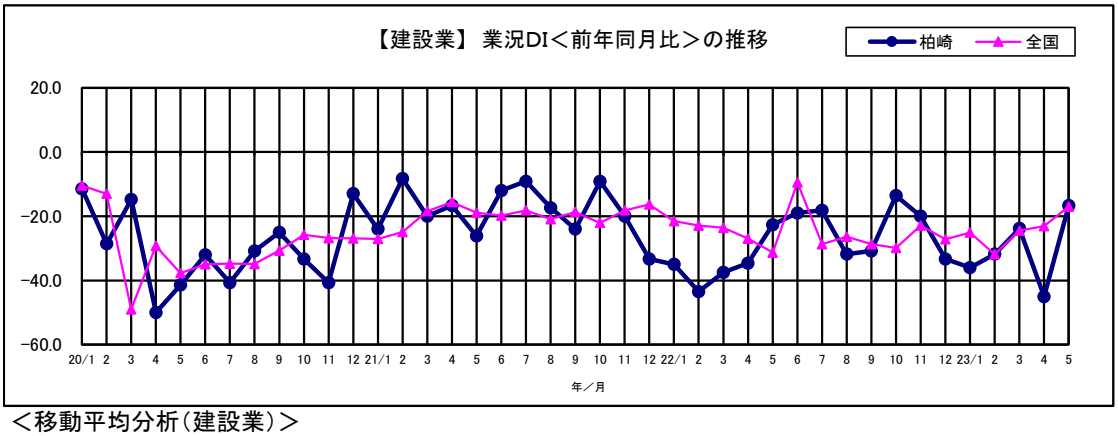
個人消費の拡大や観光需要の回復、企業の設備投資の増加等、経済活動の一層の改善が期待される一方、需要増に人材確保が追い付かず、受注機会の損失が懸念される。また、原材料・エネルギー価格の高騰継続によるコスト負担増や、コスト増に見合う価格転嫁が十分に追い付いていない中、海外経済の鈍化による外需停滞懸念など、中小企業の先行き不安は根強く、厳しい見方が続く。

【5月期柏崎全産業の動向】

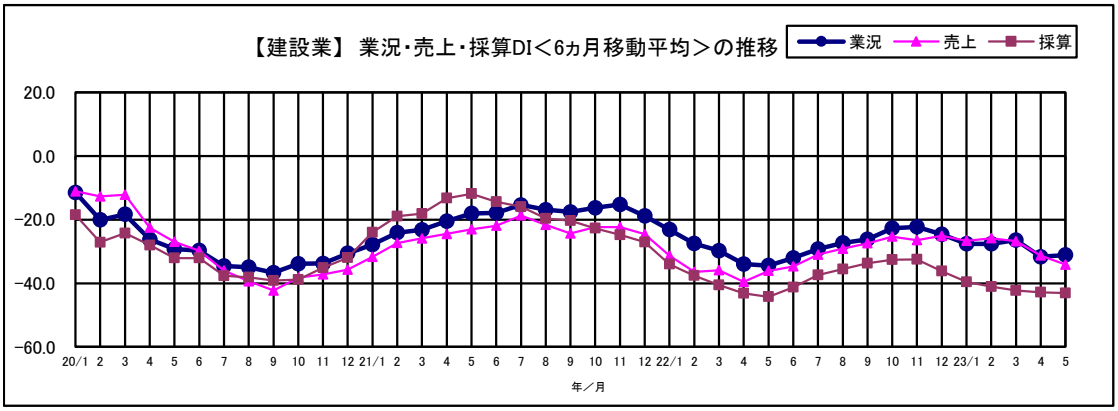
業況・売上・採算・仕入れ単価DIでマイナス幅の拡大が見られた。先行き見通しの業況・売上・仕入れ単価DIでマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

【建設業】

項　目		22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	先行き見通し 6月～8月
業　況	柏　崎	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 31.8	▲ 23.8	▲ 45.0	▲ 16.7	▲ 16.7
	全　国	▲ 27.2	▲ 25.1	▲ 31.9	▲ 24.5	▲ 23.1	▲ 17.0	▲ 15.8
売　上	柏　崎	▲ 25.0	▲ 32.0	▲ 40.9	▲ 28.6	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 16.7
	全　国	▲ 17.5	▲ 17.1	▲ 22.4	▲ 11.9	▲ 13.8	▲ 13.6	▲ 14.2
採　算	柏　崎	▲ 45.8	▲ 52.0	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 35.0	▲ 37.5	▲ 33.3
	全　国	▲ 31.3	▲ 29.9	▲ 37.2	▲ 26.6	▲ 25.8	▲ 26.0	▲ 24.1
資金繰り	柏　崎	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 13.6	▲ 9.5	▲ 10.0	▲ 12.5	▲ 12.5
	全　国	▲ 10.0	▲ 7.8	▲ 11.4	▲ 12.8	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 10.8
仕入単価	柏　崎	▲ 70.8	▲ 64.0	▲ 77.3	▲ 81.0	▲ 70.0	▲ 66.7	▲ 45.8
	全　国	▲ 83.8	▲ 81.4	▲ 81.4	▲ 84.4	▲ 83.1	▲ 76.8	▲ 65.9
従業員	柏　崎	37.5	28.0	27.3	19.0	15.0	33.3	45.8
	全　国							34.1
資金借入難易感	柏　崎	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 4.5	▲ 4.8	15.0	▲ 4.2	▲ 4.2



＜移動平均分析（建設業）＞



【全国建設業の動向】

建設資材やエネルギー価格の高騰は継続しているものの、政府の補正予算による公共工事の受注数増加に下支えされ、改善。一方、事業者からは受注数の増加に対し、技術者の高齢化や人手不足で対応に苦慮する声が聞かれた。

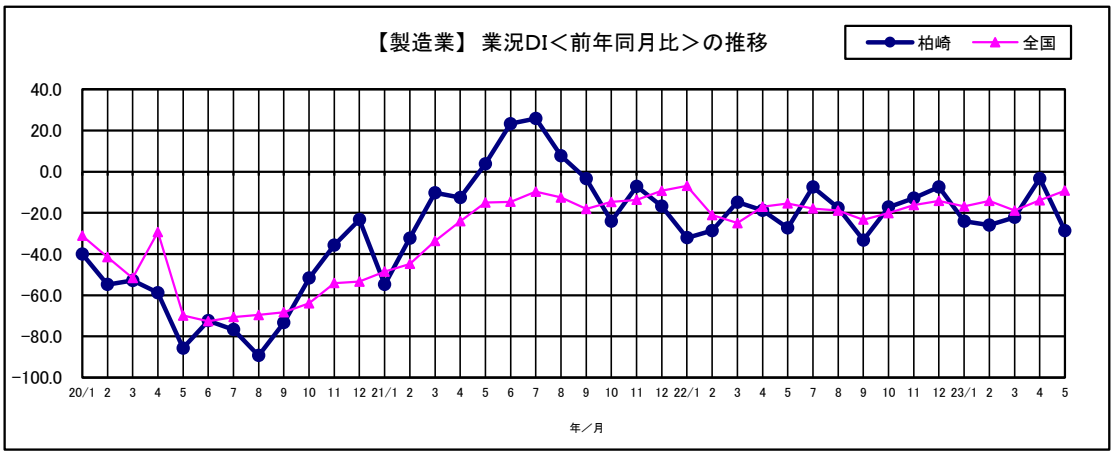
＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「受注数の増加に伴い、人手不足解消に向けて積極的に人材採用を実施。確保できた人材の定着・育成に向けて、賃金の引き上げや技術の継承を図っている。これにより、コスト負担は増加しているものの、販路拡大に努めるとともに、補助金の活用等も行っていく」」（大工工事業）
・「2024年の働き方改革関連法の施工に向け、就業規則の改訂など、対応を進めている」（舗装工事業）

【柏崎建設業の動向】

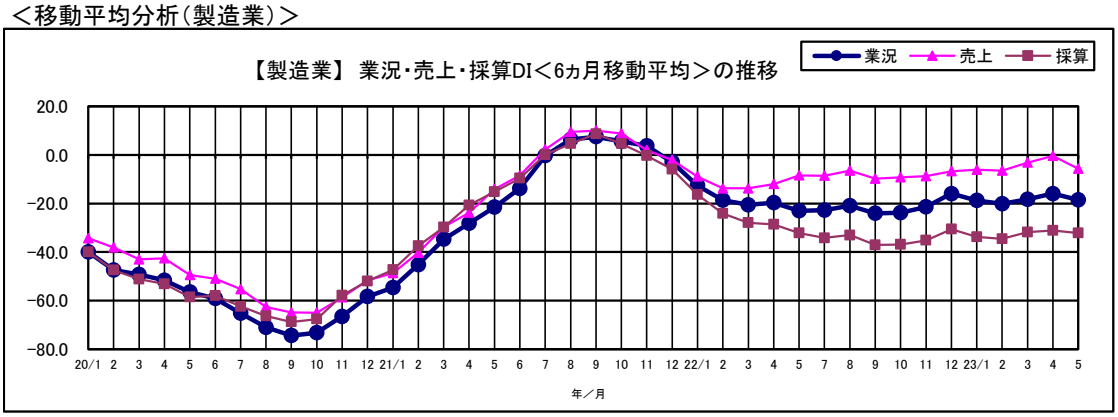
業況・売上・仕入れ単価DIでマイナス幅の縮小が見られた。先行き見通しの売上・採算・仕入れ単価DIのマイナス幅は縮小する見通しである。

【製造業】

項　目		22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	先行き見通し 6月～8月
業　況	柏　崎	▲ 7.4	▲ 24.1	▲ 25.9	▲ 22.2	▲ 3.3	▲ 28.6	▲ 21.4
	全　国	▲ 14.2	▲ 16.9	▲ 18.4	▲ 18.9	▲ 13.9	▲ 9.2	▲ 12.5
売　上	柏　崎	▲ 11.1	0.0	▲ 11.1	0.0	16.7	▲ 28.6	▲ 17.9
	全　国	10.4	4.2	▲ 1.6	1.2	8.4	9.9	▲ 0.4
採　算	柏　崎	▲ 25.9	▲ 41.4	▲ 37.0	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 35.7	▲ 39.3
	全　国	▲ 24.8	▲ 25.0	▲ 29.5	▲ 25.5	▲ 21.2	▲ 14.2	▲ 16.2
資金繰り	柏　崎	▲ 7.4	▲ 17.2	▲ 11.1	▲ 7.4	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.7
	全　国	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 18.4	▲ 17.1	▲ 11.8	▲ 13.1	▲ 12.1
仕入単価	柏　崎	▲ 85.2	▲ 79.3	▲ 77.8	▲ 81.5	▲ 76.7	▲ 71.4	▲ 64.3
	全　国	▲ 82.1	▲ 81.3	▲ 82.0	▲ 78.7	▲ 76.5	▲ 73.3	▲ 56.7
従業員	柏　崎	3.7	20.7	11.1	11.1	23.3	10.7	14.3
	全　国							15.4
資金借入難易感	柏　崎	7.4	6.9	3.7	7.4	10.0	3.6	▲ 3.6



＜移動平均分析（製造業）＞



【全国製造業の動向】

海外経済の停滞による電子部品関連の需要減や、原材料・エネルギー価格の高騰による収益圧迫は続いているものの、底堅く推移する国内の設備投資需要に下支えされ、改善。

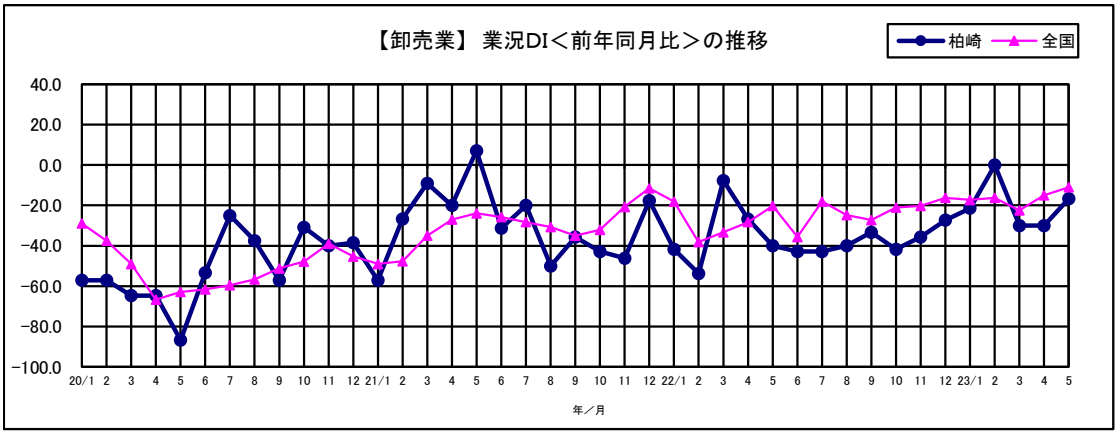
＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「コロナの5類への移行で、消費者の意識も改善に向かっており、飲食店などの顧客からの受注が増加している。今後はインバウンド関連や観光地における市場の変化に適正に対応し、売上増加を目指していく」（パン・菓子製造業）
・「受注はあるが、人手不足で生産が追い付いていない。コストの上昇も早く、価格転嫁も遅れており、収益を圧迫している」（自動車・付属品製造業）

【柏崎製造業の動向】

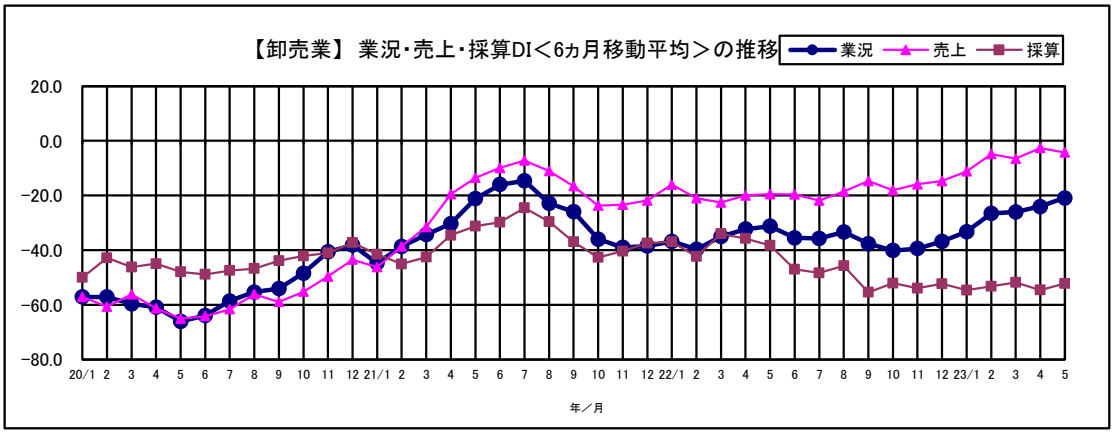
業況・売上・採算・資金繰りDIはいずれもマイナス幅の拡大が見られた。先行き見通しの業況・売上・仕入れ単価DIではマイナス幅が拡大する見通しとなっている。
＜柏崎商工会議所に寄せられた声＞
・「コロナ禍で減った人員だったが、今期に入り2名増でうまく人員を回復できたが売り上げはコロナ前と比べると大幅減、売り上げに対して適正人員数である」

【卸売業】

項　目		22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	先行き見通し 6月～8月
業　況	柏　崎	▲ 27.3	▲ 21.4	0.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 16.7	▲ 25.0
	全　国	▲ 16.3	▲ 17.3	▲ 16.4	▲ 22.4	▲ 15.0	▲ 11.0	▲ 16.9
売　上	柏　崎	0.0	0.0	11.1	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	0.0
	全　国	5.4	▲ 1.3	2.2	0.0	4.2	5.5	▲ 4.6
採　算	柏　崎	▲ 54.5	▲ 64.3	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 41.7
	全　国	▲ 15.8	▲ 23.6	▲ 20.4	▲ 20.3	▲ 16.7	▲ 13.1	▲ 17.7
資金繰り	柏　崎	▲ 9.1	▲ 14.3	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 8.3
	全　国	▲ 12.9	▲ 13.8	▲ 6.6	▲ 15.2	▲ 10.4	▲ 11.4	▲ 12.7
仕入単価	柏　崎	▲ 72.7	▲ 78.6	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 58.3
	全　国	▲ 68.3	▲ 67.1	▲ 73.0	▲ 73.0	▲ 64.6	▲ 67.1	▲ 62.0
従業員	柏　崎	9.1	7.1	0.0	20.0	40.0	25.0	25.0
	全　国							18.6
資金借入難易感	柏　崎	▲ 9.1	▲ 7.1	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0	▲ 8.3



＜移動平均分析（卸売業）＞



【全国卸売業の動向】

設備投資需要の回復に伴う製造業からの引き合い増加や、客足が回復している小売店や飲食・宿泊業からの受注増で、改善。一方、輸送費や梱包資材費、人件費の増加によるコスト負担増は継続している。

＜日本商工会議所に寄せられた声＞

・「経済活動が活発化してきており、国内企業を中心に受注は増加している。しかしながら、電気代や梱包資材の価格高騰による収益の圧迫は続いており、経費の削減にも限界があるため、設備投資による生産性向上を図っていきたい」（一般機械器具卸売業）

・「取引先の事業拡大に伴い、売上の増加が見込まれているが、同業他社が値上げを実施していないため、価格転嫁を行えていない」（食料・食料卸売業）

【柏崎卸売業の動向】

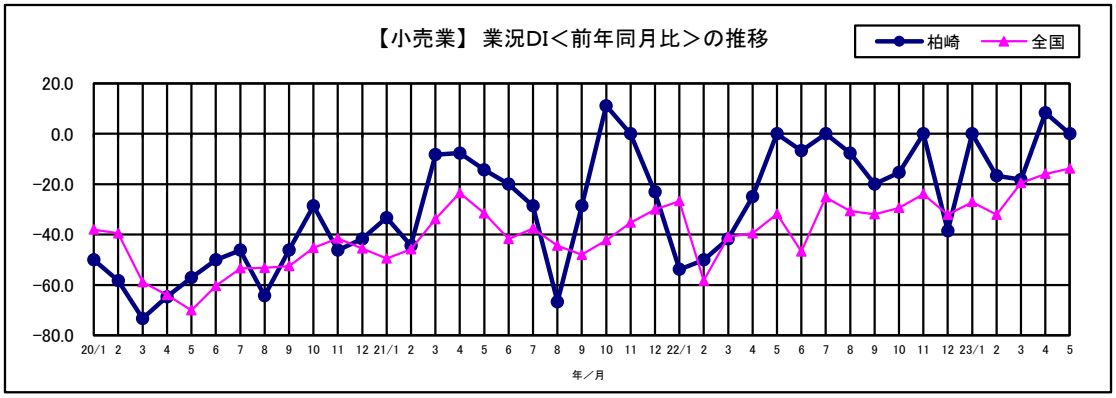
業況DIでマイナス幅の縮小が見られたが、売上・資金繰り・仕入れ単価DIでは、いずれもマイナス幅の拡大が見られた。

＜柏崎商工会議所に寄せられた声＞

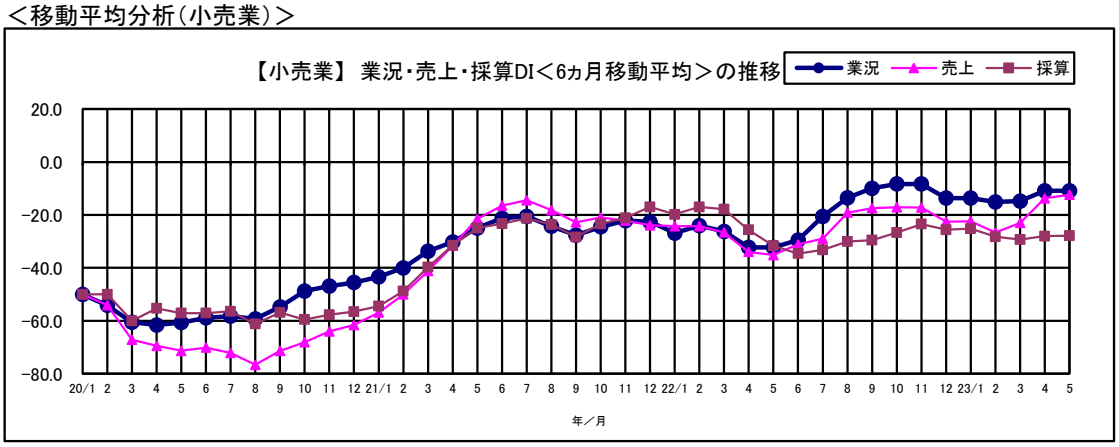
「現時点までは堅調に推移しているが、この先3か月に限ると注残が少なく、不透明さを感じている」

【小売業】

項　目		22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	先行き見通し 6月～8月
業　況	柏　崎	▲ 38.5	0.0	▲ 16.7	▲ 18.2	8.3	0.0	15.4
	全　国	▲ 32.1	▲ 27.1	▲ 25.9	▲ 19.5	▲ 15.9	▲ 13.8	▲ 16.2
売　上	柏　崎	▲ 38.5	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 18.2	25.0	0.0	15.4
	全　国	▲ 17.8	▲ 12.8	▲ 8.6	▲ 6.8	2.2	▲ 3.8	▲ 7.6
採　算	柏　崎	▲ 46.2	▲ 27.3	▲ 41.7	▲ 36.4	0.0	▲ 15.4	▲ 15.4
	全　国	▲ 33.8	▲ 28.5	▲ 28.4	▲ 23.4	▲ 18.8	▲ 16.4	▲ 21.1
資金繰り	柏　崎	▲ 7.7	▲ 9.1	▲ 8.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7
	全　国	▲ 26.2	▲ 24.2	▲ 24.0	▲ 19.7	▲ 19.0	▲ 14.3	▲ 15.4
仕入単価	柏　崎	▲ 69.2	▲ 63.6	▲ 66.7	▲ 54.5	▲ 58.3	▲ 61.5	▲ 53.8
	全　国	▲ 71.4	▲ 73.7	▲ 75.6	▲ 74.2	▲ 77.6	▲ 68.4	▲ 65.6
従業員	柏　崎	38.5	18.2	33.3	18.2	50.0	30.8	38.5
	全　国							15.2
資金借入難易感	柏　崎	▲ 15.4	0.0	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 8.3	▲ 7.7	▲ 7.7



＜移動平均分析（小売業）＞



【全国小売業の動向】

インバウンド需要の増加による免税品・高付加価値商品の販売が好調な百貨店や、行動制限のない大型連休で客足が回復した土産品販売店等を中心に、改善。一方で、物価高で日用品等の買い控えは継続しているとの声が聞かれた。

＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「インバウンド需要が回復し、外国人観光客による売上の増加は継続している。一方で、物価高・電気代の高騰による地域顧客の購買意欲は低下しており、十分な回復には至っていない」（百貨店）
・「大型連休や5類への移行に伴い、観光客が増加し、地域の特産物の売上が増加。今後のさらなる需要拡大を期待する」（食料品小売業）

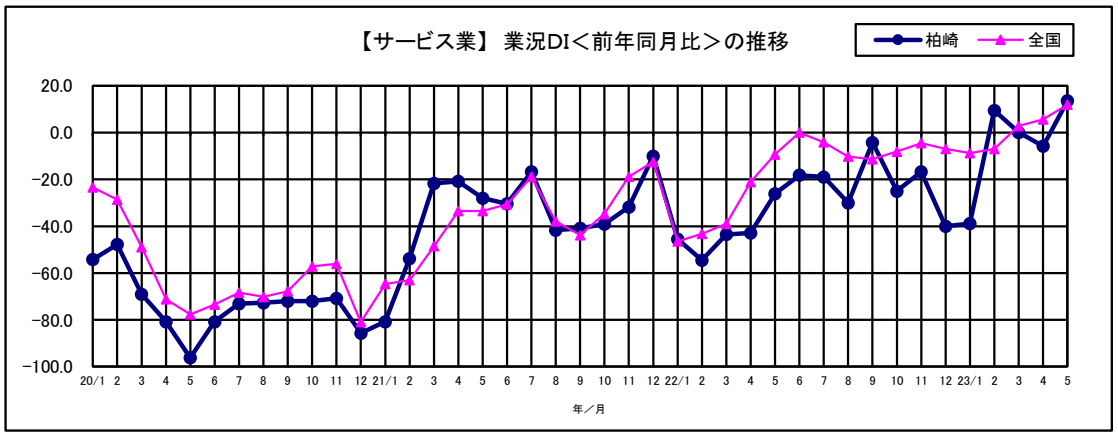
【柏崎小売業の動向】

業況・売上・採算・資金繰り・仕入れ単価DIにおいてマイナス幅の拡大が見られた。先行き見通しの業況・売上DIは上向きの推移になる見通しである。

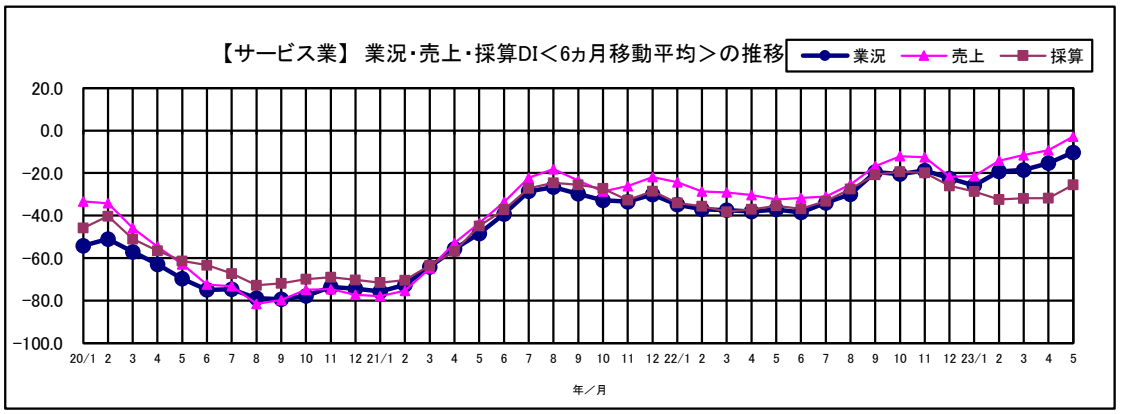
＜柏崎商工会議所に寄せられた声＞
・「昨対比をこなすのがやっとだった。GWでお金を使ったためだろうか。EC（通販）の進捗が鈍かった。市内での需要は相変わらず厳しい。県外での外貨獲得がマイナス分をプラスにした」

【サービス業】

項　目		22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	23年5月	先行き見通し 6月～8月
業　況	柏　崎	▲ 40.0	▲ 38.9	9.5	0.0	8.3	13.6	4.5
	全　国	▲ 7.0	▲ 8.8	▲ 8.6	2.8	5.6	11.9	6.2
売　上	柏　崎	▲ 55.0	▲ 22.2	▲ 19.0	23.8	8.3	13.6	9.1
	全　国	10.1	7.8	10.0	▲ 19.4	21.5	21.6	12.1
採　算	柏　崎	▲ 55.0	▲ 44.4	▲ 42.9	▲ 4.8	0.0	9.1	▲ 4.5
	全　国	▲ 15.3	▲ 14.7	▲ 18.7	▲ 8.1	▲ 1.4	1.9	▲ 4.5
資金繰り	柏　崎	▲ 30.0	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 4.8	▲ 4.2	4.5	▲ 4.5
	全　国	▲ 16.7	▲ 13.5	▲ 17.9	▲ 11.0	▲ 11.8	▲ 6.4	▲ 7.6
仕入単価	柏　崎	▲ 65.0	▲ 77.8	▲ 85.7	▲ 66.7	▲ 62.5	▲ 68.2	▲ 63.6
	全　国	▲ 66.4	▲ 67.3	▲ 69.5	▲ 67.4	▲ 68.7	▲ 66.5	▲ 60.1
従業員	柏　崎	5.0	22.2	4.8	14.3	4.2	18.2	9.1
	全　国							31.7
資金借入難易感	柏　崎	▲ 15.0	5.6	0.0	0.0	▲ 4.2	4.5	4.5



＜移動平均分析（サービス業）＞



【全国サービス業の動向】

経済活動の回復に伴う需要増に対して、人手不足で対応に苦慮する声は聞かれるものの、行動制限のない大型連休やコロナの5類への移行、国内外からの需要増加で、客足の回復が続く飲食・宿泊・旅行業を中心に、改善。

＜日本商工会議所に寄せられた声＞
・「行動制限のない大型連休やコロナの5類への移行により、大人数の宴会も増加傾向。コロナ禍で始めたテイクアウト・デリバリー事業も好調であるため、両輪で売上の確保、収益向上に努めていく」（飲食店）
・「国内外を問わず、観光客の増加で売上は戻りつつある。この需要増を逃さないよう、人材確保を進めているが、芳しくない状況が続いている」（遊園地）

【柏崎サービス業の動向】

業況・売上・採算・資金繰りDIはいずれ上向きの推移となった。一方で仕入れ単価DIではマイナス幅の拡大が見られた。